

わすれなぐさ



[わすれなぐさ_下载链接1](#)

著者:[日] 吉屋信子

出版者:河出書房新社

出版时间:2010-3-5

装帧:文庫本

isbn:9784309410074

内容紹介

美しくも我儘なお嬢様・陽子と彼女のあやつる糸に絡めとられていく牧子、そして学校一の優等生・一枝の、愛と友情の行方は……？
少女小説の女王が描く、昭和ロマン漂う少女たちの物語。解説=内田静枝

内容（「BOOK」データベースより）

美しく我儘なお嬢様・陽子、人造人間とあだ名される優等生・一枝、無口で風変わりな個人主義者・牧子。一枝と心を通わそうとする牧子だったが、華やかな魅力に溢れる陽子の操る糸に絡めとられていく…。夏休みの水泳合宿、学校帰りの横浜ドライブ―少女小説の女王が描く、昭和ロマン漂う少女たちの愛と友情の物語。

作者紹介:

吉屋/信子

1896年、新潟市生まれ。10代~20代にかけて発表した『花物語』が「女学生のバイブル」と呼ばれる程の大ベストセラーとなる。その後『安宅家の人々』『徳川の夫人たち』『自伝的女流文壇史』など多数の作品を発表、流行作家として人気を博した。52年、「鬼火」で女流文学賞、67年、菊池賞受賞。73年、逝去(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:

[わすれなぐさ_ダウンロード1](#)

标签

吉屋信子

百合

輕小説

日本文学

百合系

日本文學

评论

有钱任性的大小姐阳子是华丽的外部世界，有武士遗风的坚物女一枝是心中永恒的理想。游荡于两人之间的牧子亦是沉潜在那个时代中。封面上阳子无心的拉着牧子领口的红缎带，一定要点个赞。

昭和3年的发表在少女の友的少女小说，比花物语还是差了一些，但可以看出可读性更强，更接近现代少女漫的写法。

看了女学生手帖的剧情简介读的 不过内容就很一般了
明显是走给当时的中学小女生看得冰淇淋路线 大大不如屋顶下的二处女

浪漫的昭和背景，關於女校內三名少女故事的細膩描寫

故事剧情在现代看来无疑是稍弱的。然而用词都十分美丽，飘荡着的是昭和ロマン的气息。吉屋信子始终是少女读者的味方。

[わすれなぐさ_下载链接1](#)

书评

[わすれなぐさ_下载链接1](#)